

ネットワークビデオレコーダー（NVR）には、RAIDに対応している機種/対応していない機種がございます。RAID対応している機種では、モードの違いもございますのでご注意ください。詳細については、各営業担当にお問合せください。

RAID対応機種(2024年9月 現在)

◆[RD-NF68128-4K-S2](#) 運用モード：0/1/5/6/10

◆[RD-NF5864-EI](#) 運用モード：0/1/5/6/10

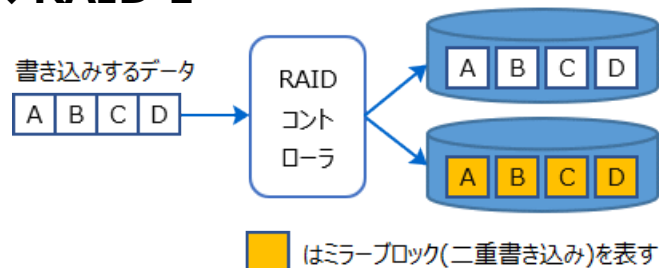
◆[RD-NF5832-EI](#) 運用モード：0/1/5/6/10

RAID構成	最低必要HDD本数	実効容量	速度	耐障害性
RAID0	2本以上	HDD全容量(100%)	超高速	なし
RAID1	2本	HDDの1本分(50%)	低速	HDD1本
RAID5	3本以上	構成HDD-1本	高速	HDD1本
RAID6	4本以上	構成HDD-2本分	高速	HDD2本
RAID10	4本以上(2本単位)	全HDDの半分(50%)	高速	HDD1本~n本

おすすめRAID構成（ASK TRADINGスタッフによる）

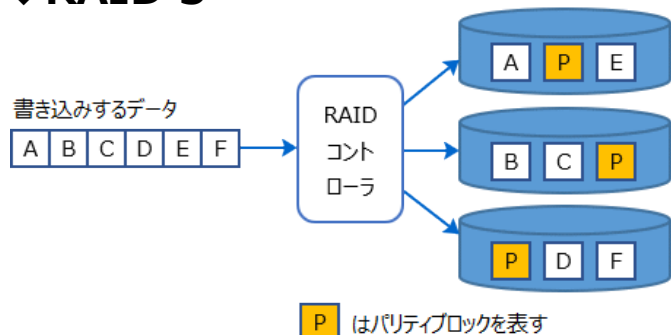
- ◆少ないHDDで冗長化したい・・・RAID1がおすすめ。
ただし、実際に利用できるデータ容量がハードディスク1本分となります。
- ◆重要データのため安全優先・・・RAID6がおすすめ。
ハードディスクの同時障害2本までデータは保全されます。
ただし、実際に利用できるデータ容量は全HDD数-2本分となります。

◆ RAID 1



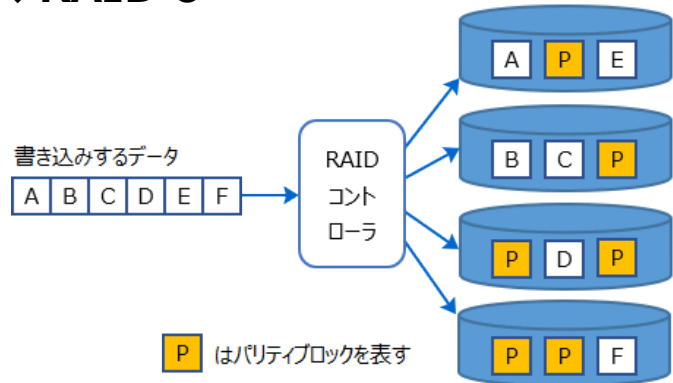
同じデータを2本のハードディスクに書き込みすることで耐障害性を高めた構成です。ハードディスク1本に障害が発生してもシステムは停止せずにデータも失われません。ただし、同じデータを二重で保管しているためハードディスク2本で1本分の容量しか使用できません。

◆ RAID 5



データを複数のハードディスクに分散して格納します。さらにパリティデータ（誤り訂正補正）もあわせて書き込みを行うことで、耐障害性を高めた構成となっています。

◆ RAID 6



データを複数のハードディスクに分散して格納します。さらにパリティデータ（誤り訂正補正）を二重で書き込みを行うことで、耐障害性を大幅に高めた構成となっています。